

令和8年1月

市長定例記者会見

日 時 12月25日（木）午前11時

資：資料 写：写真
ポ：ポスター ち：ちらし
図：地図など

場 所 市役所本庁舎4階 庁議室

	(記者会見項目)	添付				(担当課)
		1	2	3	4	
1.	令和7年 大館市の10大ニュース	資				総務課
2.	「大館市病院事業経営強化プラン（令和8年3月改定案）」に対するパブリックコメントを募集します					総合病院 経営企画課

No1

令和7年 大館市の10大ニュース

総務課

大館市の10大ニュースについて、別紙のとおり発表します。

なお、市ホームページ (<https://www.city.odate.lg.jp/>) にも同じ内容を掲載します。

お問い合わせ 総務課広報広聴係

■43-7025（内線 553）

令和7年 大館市の10大ニュース

順位	項目	説明
1	北鹿ヘルスケアネットが地域医療連携推進法人に認定	<p>令和6年12月に一般社団法人として設立した「北鹿ヘルスケアネット」(大館市など4法人で構成)が、秋田県の地域医療構想調整会議や医療審議会を経て、令和7年4月、県内2例目となる地域医療連携推進法人の認定を受けた。</p> <p>人口減少下での患者減少、医療従事者不足が同時進行する中、“地域全体”で医療提供を継続させる仕組みを構築し、4月以降、経営母体の異なる病院間での医療従事者派遣、共同研修、介護施設との間でのオンライン診療などの取組みを行っている。</p> <p>医療を取り巻く環境が激変する中において、医療圏内外での連携拡大による地域医療の維持を目指す。</p>
2	おおだて未来づくりプランの見直し	<p>社会情勢の変化や、急速に進む少子高齢化と人口減少などに対応するため、「多角的な少子化対策」、「起業や事業承継への支援」、「マーケティングに基づく移住・定住の体制整備」を柱とする見直しを行った。</p> <p>今回、追加・修正した施策については、おおだて未来づくりプランの折り返しとなる2年間で着実に取り組んでいく。</p>
3	過去最多のツキノワグマ異常出没に官民挙げた対策を実施	<p>ツキノワグマの出没が平年の10倍以上となる1,300件を超え、これまでの最多であった令和5年度の618件を大きく上回る異常事態となった。また、被害件数も人身被害7件を含む80件を超えるなど、市民生活や経済活動に深刻な影響を与えた。</p> <p>捕獲用の檻を32基から40基へ増やしたうえで、捕獲活動期間を延長するなど捕獲体制を強化し、市民への迅速な出没情報の提供や注意喚起、関係機関と連携しての追い払いの実施など、官民を挙げて対策にあたった。</p>
4	大手不動産デベロッパーと建築物木材利用促進協定を締結	<p>8月25日、大手不動産デベロッパーの三菱地所レジデンス株式会社と、北鹿地域林業成長産業化協議会、大館市の3者で「大館市産森林認証材等の利用拡大に関する建築物木材利用促進協定」を締結した。</p> <p>協定に基づき、大館市産森林認証材等の利用促進や安定供給体制の構築、普及啓発活動などに共同で取り組む。第1弾として、世界的建築家である隈 研吾 氏がデザイン監修する新築分譲マンション「ザ・パークハウス 武蔵小杉タワーズ」(神奈川県川崎市・地上50階建て・ツインタワー・建設中)の共用部の家具の一部で大館市産認証秋田スギや広葉樹の活用を計画している。</p>
5	令和7年産米の輸出契約が100トンを突破	<p>1月30、31日の両日、農産物の販路拡大に向け、大館産米を核とする輸出プロモーション事業として、口サンゼルスでトップセールスを実施した。</p> <p>その後、交渉を進めた結果、令和7年産米の輸出契約が133トンとなった。</p> <p>今後は関税の影響を考慮し、輸出先の多角化にも取り組む方針としている。</p>
6	公民連携によるスタートアップ企業との連携が始動	<p>公民連携による市民サービスの向上、市内で培った事業モデルの全国展開、スタートアップ企業の誘致を見据え、連携事業に着手。3月25日に「大館市長“直談判”ピッチ」を開催し、社会課題解決に向けたビジネスプランの募集に、県内外の10社から提起があり、パートナー候補3社を選定。令和7年はパートナー企業以外のスタートアップ企業も含め、公民連携による実証事業を5件実施。</p>
7	個人市民税の調定額が初めて30億円を突破	<p>令和7年度の個人市民税の調定額が、前年度の25億円から大幅増の30億円となった。</p> <p>これは主に、定額減税による減額分の回復に加え、農業所得や給与所得が前年度を大きく上回ったことによる。</p>
8	第2期大館市地域福祉計画・地域福祉活動計画がスタート	<p>今年度から令和11年度までを計画期間とする福祉分野の上位計画である「第2期大館市地域福祉計画・地域福祉活動計画」が、市及び社会福祉協議会の一体的な計画としてスタート。</p> <p>誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくように、「つながり支え合う大館」を基本理念として地域共生社会の実現を目指す。</p>
9	「ボッチャのまち大館」宣言～ボッチャを通じたまちづくり～がスポーツ振興賞の「観光庁長官賞」を受賞	<p>ボッチャを通じた共生社会実現への取組みと、タイ王国ボッチャチームとの交流を通じたスポーツツーリズムの推進などが評価され、「ボッチャのまち大館」宣言～ボッチャを通じたまちづくり～が、日本スポーツツーリズム推進機構によるスポーツ振興賞観光庁長官賞を受賞した。</p>
10	道路等包括管理業務(包括的民間委託)の地域拡大	<p>先に本格実施した南地域に続き、西地域を令和7年4月から契約期間3年間、年間約1億円の事業規模で委託した。</p> <p>この西地域では新たに農道・林道の一部や公園の草刈等を追加し、「地域インフラ群再生戦略マネジメント」の多分野連携に進化させている。</p>
10	ニホンザリガニ第2人工生息地が完成	<p>令和4年度に着工したニホンザリガニ第2人工生息地が、8月に完成した。</p> <p>絶滅が危惧されるニホンザリガニの数少ない個体が安定して繁殖できるよう、生息状況のモニタリングと環境整備を継続し、天然記念物「ザリガニ生息地」を守っていく。</p>
10	マイナ救急スタート	<p>令和7年10月1日から総務省消防庁と連携した「マイナ救急」の実証事業を開始した。</p> <p>傷病者のマイナ保険証(健康保険証として利用登録したマイナンバーカード)を活用し、傷病者の医療情報等を閲覧することにより、迅速かつ適切な医療対応を実施します。</p>

令和7年 大館市各部局の5大ニュース

順位	総務部	市民部	福祉部	産業部	観光交流スポーツ部	建設部	教育委員会	病院	消防
1	おおだて未来づくりプランの見直し	個人市民税の調定額が初めて30億円を突破	第2期大館市地域福祉計画・地域福祉活動計画がスタート	過去最多のツキノワグマ異常出没に官民挙げた対策を実施	「『ボッチャのまち大館』宣言～ボッチャを通じたまちづくり」がスポーツ振興賞の「観光庁長官賞」を受賞	道路等包括管理業務(包括的民間委託)の地域拡大	ニホンザリガニ第2人工生息地が完成	北鹿ヘルスケアネットが地域医療連携推進法人に認定	マイナ救急スタート
2	市公式LINEアカウントの運用開始	「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」を策定	大館市こども家庭センター開設	大手不動産デベロッパーと建築物木材利用促進協定を締結	大館能代空港羽田線3往復運航の継続	大館市が10月1日から景観行政団体へ移行	子どもたちをクマの被害から守る対策を実施	将来の地域医療を担う人材確保のための取り組み	岩手県大船渡市の林野火災に、緊急消防援助隊として出動
3	本庁舎駐車場の完成	市税収納率が14年連続で県内13市中トップ、国保税も2年ぶりにトップに返り咲き。全国同規模自治体でも上位を堅持	東京2025デフリンピック大会応援	令和7年産米の輸出契約が100トンを突破	「第53回本場大館きりたんぽまつり」、「第10回肉の博覧会inおおだて」同日開催	比内地域バス路線再編による実証運行を開始	新教育長の下で教育委員会始動	地域医療機能の更なる集約化	広域連携強化を図るため、県内外の消防本部との各種合同訓練を実施
4	8月19日、9月2日からの大雨による災害	大館市し尿処理場の廃止	健康寿命延伸に向けた「オンライン・AIを活用したフレイル予防」実証事業を実施	公民連携によるスタートアップ企業との連携が始動	大館市公認キャラクター「オオダテベビハチ」活用開始	工業用水道の第4水源詳細調査完了	文化財ボランティアが始動	総合病院訪問看護ステーションを利用中の患者さんを対象としたオンライン診療の開始	第76回秋田県消防大会を10年ぶりに大館市で開催
5	合併20周年記念「令和7年度大館市行政協力員大会」開催	マイナ保険証へ本格移行	第3期 子ども・子育て支援事業計画がスタート	大館駅インランドデポ整備に向けた先行事業を実施	お試し移住体験事業スタート	し尿受入センター供用開始	GIGAスクールタブレット更新、県小中学校統合型校務支援への移行	入院セットサービスの開始	救急件数増加

「大館市病院事業経営強化プラン（令和8年3月改定案）」 に対するパブリックコメントを募集します

総合病院 経営企画課

「大館市病院事業経営強化プラン」を改定（令和8年3月改定案）するに当たり、
市民の皆さまの意見を広く募集します。

○計画の閲覧場所

総合病院ホームページに掲載します。

大館市ホームページ、市立扇田病院ホームページからも閲覧ができます（市立総合病院ホームページの参照による閲覧）。

また、次の窓口で閲覧できます。

（午前8時30分から午後5時15分）※土日祝日を除く

- ・総合病院 総合案内（2階）、扇田病院 事務局
- ・市役所総務課（本庁舎4階）、比内総合支所、田代総合支所

○提出方法

様式に記入の上、以下の方法でご提出ください。

※必ず住所と氏名を明記してください。

- ・郵送、ファクス、電子メール、関係資料の閲覧場所に直接持参

※「意見提出様式」は総合病院ホームページからダウンロードできるほか、関係資料の閲覧場所に備え付けています。

○募集期間 令和8年1月7日（水）～27日（火）17時必着

○意見を提出できる方

- ・市内に住所を有する方

- ・市内の事務所、事業所に勤務されている方
- ・市内の学校に在学中の方

○提出先 郵送 〒017-8550 大館市豊町3番1号

大館市立総合病院 経営企画課

ファクス 42-2055

メール plan@odate-hp. odate. akita. jp

直接提出 公表資料を閲覧した病院、市役所窓口、支所窓口

○留意事項

「意見提出様式」には提出される方の住所、氏名、年齢を記入してください。記入がないものは意見として取り扱わない場合があります。

○意見の公表

- ・提出していただいたご意見は、病院事業の考え方を付してホームページで公表します(住所や氏名は公表しません)。
- ・同種のご意見が複数ある場合は整理し、まとめて公表します。
- ・プラン改定案に対する賛成、反対のみの意見及び趣旨が不明瞭な意見等については、病院事業の考え方を示さない場合があります。

お問い合わせ 総合病院 経営企画課

電話 42-5370